



2024年7月5日

各位

会社名 **株式会社ツルハホールディングス**

代表者名 代表取締役社長 鶴羽 順
(コード番号 3391 東証プライム)

問合せ先 執行役員管理本部長 村上 誠
(TEL 011 - 783 - 2755)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要のお知らせ

当社は「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能および実効性のより一層の向上に取り組むことが重要であると考えております。この一環として、取締役会の実効性に関する分析および評価を行いましたので、その結果の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実効性の評価方法

取締役会の実効性を分析および評価するにあたり、当社の取締役全員による「取締役会の実効性の評価に関するアンケート」を用いて、各評価項目に対する自己評価を実施するとともに、取締役会でこのアンケートの分析結果に関する審議を行い、その意見を踏まえ評価いたしました。なお、2024年度については、評価の客観性・透明性をさらに高めるために、第三者機関の協力を得て実施いたしました。

[評価項目]

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営・議論
- (3) 取締役会のモニタリング機能
- (4) 取締役会を支える体制
- (5) 株主（投資家）との対話

2. 取締役会の実効性に関する分析ならびに評価結果

当社では上述アンケートによる分析の結果、各質問事項に対する回答は概ね肯定的評価が多く、コーポレートガバナンス・コードが求める取締役会の実効性はほぼ充足し確保していると評価いたしました。

一方で、以下の点につきましては、課題や工夫の余地が見られると認識し、当社および当社取締役会として重点的に対応してまいります。

3. 課題及び今後の検討テーマ

- (1) これまでの実効性評価において認識した課題に対する取組み
 - 1) 課題であった取締役会における経営層の後継者育成計画に対する取組みとして、指名・報酬委員会においてサクセッションプラン等の具体的なスケジュール

を策定し実施しております。

- 2) 独立社外取締役のみを構成員とする会合を開催し、積極的な意見交換を行いました。
- 3) 取締役に対するトレーニングにつきましては、経営上重要なテーマを定め、外部講師を招いてセミナーを実施しております。
- 4) 経営陣の報酬については、中長期的な業績と連動する報酬の割合や、現金報酬と自社株報酬との割合を適切に設定した報酬制度の設計等について指名・報酬委員会における検討のプロセスを経て取締役会で議論を行っております。

(2) 今回実施した取締役会実効性評価を踏まえた今後の検討テーマ

- 1) 取締役会における議論およびモニタリング機能の強化
昨今の急激な経営環境の変化や市場からの要請等を踏まえ、中期経営計画の進捗状況、資本コストや株価を意識した経営、およびグループ内部統制の監督について、より一層取締役会において議論・検討を進めてまいります。

当社取締役会運営におきましては、今回の評価結果および課題への対応を踏まえ、今後も実効性の向上を図ってまいります。

以上